



## 記者発表資料

北首都国道事務所発注工事において、「公募型指名競争入札方式」、「見積活用方式」、「材料単価の公表」を試行し、「余裕期間制度」を採用します。

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について不調・不落対策を試行・採用しております。

今回発注する下記対象工事は、以下について試行します。

【対象工事】<sup>けんおうどう しょうじやく きょうりょうかぶ</sup>R4圏央道上蛇地区橋梁下部その7工事

※工事の内容については、別添の工事概要を参照して下さい。

【不調・不落対策の試行・採用】

### ①「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績及び賃上げの実施を加算点としています。

### ②「見積活用方式」

本工事の地域において、実勢価格の変化が想定されるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

### ③「材料単価の公表」

事業執行における円滑な発注及び施工体制の確保に向け特別調査（臨時調査）により設定した「主たる建設資材」の材料単価について公表を行います。

### ④「余裕期間制度（任意着手方式）」

発注者が示した工事着手期限までの間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができる「余裕期間制度（任意着手方式）」を採用します。

#### 記者発表クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ  
茨城県政記者クラブ、さいたま市政記者クラブ

#### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 北首都国道事務所  
副所長：川路 隆之（かわじ たかゆき） 工務課長：木島 久仁男（きじま くにお）  
住 所：埼玉県草加市花栗3-24-15  
電 話：048-942-4041（代）

## R4圏央道上蛇地区橋梁下部その7工事

### 《工事概要》

- (1) 工事場所：茨城県常総市上蛇町地先  
(2) 工期：工事の始期から213日間  
(3) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）  
(4) 工事種別：一般土木工事B  
(5) 工事内容（概要）：

|                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 橋脚工 4基（T型橋脚4基）      |                    |
| コンクリート              | 約630m <sup>3</sup> |
| 鉄筋                  | 約 75 t             |
| 基礎工（既製杭（SC+PHC杭））   |                    |
| φ1000 L=41.0m（PD27） | 9本                 |
| φ1000 L=40.5m（PD28） | 9本                 |
| φ1000 L=42.5m（PD29） | 6本                 |
| φ1000 L=40.5m（PD30） | 6本                 |
| 仮設工                 |                    |
| 工事用道路工              | 1式                 |
| 土留・仮締切工             | 1式                 |

### (6) 「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績及び賃上げの実施を加算点としています。

### (7) 「見積活用方式」

○見積の提出を求める工種

・直接工事費のうち、既製杭工

○見積の提出を求める理由

本工事の地域において、実勢価格の変化が想定され、施工にあたって標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

### (8) 「材料単価の公表」

事業執行における円滑な発注及び施工体制の確保に向け、特別調査（臨時調査）により設定した「主たる建設資材」として、既製杭の材料単価について公表を行います。

### (9) 「余裕期間制度（任意着手方式）」

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和5年3月1日までの間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

### 《スケジュール》

|                 |   |               |
|-----------------|---|---------------|
| ○入札公示、入札説明書交付   | ： | 令和4年12月 1日（木） |
| ○技術資料等提出期限      | ： | 令和4年12月15日（木） |
| ○入札書・工事費内訳書提出期限 | ： | 令和5年 1月25日（水） |
| ○開札日            | ： | 令和5年 1月30日（月） |

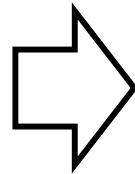
# 公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

## 【メリット】

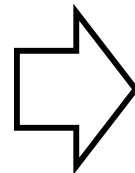
- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出  
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮  
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争・総合評価落札方式  
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示

(工事内容・入札時期・落札方式等)

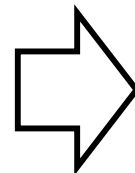


工事参加希望の意思確認・技術資料の提出  
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)



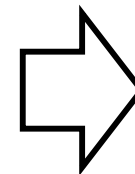
参加要件は企業とし、  
技術者要件は求めない

指名基準による選定



発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価  
落札方式の手続き



指名競争・総合評価落札方式により落札決定

(標準点100点+加算点(11点)+施工体制  
評価点(30点))÷入札価格=評価値  
※加算点は災害活動実績+賃上げの実施  
に関する評価

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

3 / 3

災害協定の締結や活動に  
係るインセンティブの向上